

大町病院だより

第26号

2010年
(平成22年)

10月15日

《病院理念》 私たちは、温かな心の通う医療を提供する病院を目指します。

〒398-0002 長野県大町市大町3130 市立大町総合病院 電話 0261-22-0415



【看護体験：関連記事4ページ】

目次

- P 2 ……平成21年度
大町市病院事業会計決算について
- P 3 ……出前講座について
- P 4・5 ……病院からのお願い 他
- P 6 ……院内感染対策チームの活動
- P 7 ……登録医の紹介 -No.8-
横澤内科医院 横澤 厚信 先生
- P 8 ……診療表

《病院理念》

私たちは、温かな心の通う医療を提供する病院を目指します。

《基本方針》

- 1 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院づくりに努力します。
- 2 十分な説明を行ない、納得の得られる医療を提供します。
- 3 地域と連携のとれた病院を目指します。
- 4 思いやりのある、優れた職員を育てます。
- 5 健全で自立できる病院経営に努めます。

平成21年度 大町市病院事業会計決算について

市立大町総合病院の平成21年度決算認定について、平成22年8月31日から開催された大町市議会9月定例会に上程し、可決承認されました。その概要についてお知らせします。

1 決算

(単位：百万円)

収益的収支	21年度決算	20年度決算	対前年度決算	
			増減	比率(%)
病院事業収益	3,746	3,759	△ 13	99.7
医業収益	3,297	3,338	△ 41	98.8
入院収益	1,964	1,978	△ 14	99.3
外来収益	997	1,050	△ 53	95.0
その他医業収益	336	310	26	108.4
医業外収益	449	421	28	106.7
他会計補助金	316	278	38	113.7
他会計負担金	104	109	△ 5	95.4
国県補助金	23	26	△ 3	88.5
その他医業外収益	6	8	△ 2	75.0
病院事業費用	4,217	4,085	132	103.2
医業費用	3,987	3,838	149	103.9
給与費	2,458	2,243	215	109.6
材料費	604	657	△ 53	91.9
経費	552	563	△ 11	98.0
減価償却費	357	357	0	100.0
資産減耗費	6	8	△ 2	75.0
研究研修費	10	10	0	100.0
医業外費用	229	241	△ 12	95.0
支払利息	157	165	△ 8	95.2
繰延償却費	18	19	△ 1	94.7
その他雑支出	54	57	△ 3	94.7
特別損失	1	6	△ 5	16.7
当期純利益	△ 471	△ 326	△ 145	144.5
累積欠損金	2,240	1,769	471	126.6
延べ入院患者数 (人)	70,304	69,569	735	101.1
1日平均入院患者数 (人)	193	191	2	101.0
延べ外来患者数 (人)	106,360	112,662	△ 6,302	94.4
1日平均外来患者数 (人)	401	424	△ 23	94.6

2 概況

1 平成21年度に受け入れた入院患者数は、入院について平成19年度の診療制限の影響から回復傾向にあります。外来については減少する結果となりました。

2 入院収益は、前年より患者数が増加している反面、一人当たりの単価の減少により減額となりました。外来収益は、患者数の大幅な減少にともない減額となりました。

3 患者数の減により材料費、経費等は減少しましたが、退職者の増により給与費が大きく増加したため医業費用が増え、結果として4億7千百万円の純損失となりました。

4 公立病院として、救急医療、高度医療、小児医療など、不採算部門であっても継続的に医療を提供するために、一般会計から一定の基準により繰出金をいただき取り組んでいるところです。

5 新たにオーダリングシステムを導入し、病院のIT化の促進、職員間での医療情報の共有、チーム医療の推進や医療安全の確保を図るとともに、職員が危機感を持ち、一丸となって収支両面から経営改善に努めています。

6 国の指導により平成20年度に策定した「病院改革プラン」が、平成21年度からスタートしました。この計画では、地域中核病院として救急医療体制の確保に努め、経営健全化を図って、持続性のある安定した経営基盤を築くことが求められています。累積欠損金の早期解消のため、職員一人一人が強いコスト意識を持ち、経営効率化、収入増加・確保対策に取り組んでまいります。

地域の皆様の力強いご支援をお願いいたします。

市立大町総合病院

出前講座

大町病院では地域の皆さんとの交流と医療・保健衛生などの啓もう活動のため出前講座を実施いたします。

聞いてみたい講座がありましたら、ご希望の日時・講座名・開催場所・参加人数などを右の問い合わせ先にご連絡ください。

※日時につきましては、講師と調整し、後日連絡いたしますが、勤務などの都合によりご希望に添えない場合があることをご了承ください。

【申し込み・問い合わせ先】

電話 22-0415 内線2227

市立大町総合病院 庶務課 担当：丸山

講座のご案内

講座名	講師	講座名	講師
アルコールと肝疾患	赤羽 事業管理者	がんの話と大町病院のあり方	高木 医療安全部長
生活習慣病と肝疾患		子どもの急変・急病・事故への対処法	小児科 北村 医師
子宮頸がんと予防ワクチン	深松 副院長	更年期をいきいき過ごす	産婦人科 原 医師 助産師チーム
腎臓の病気を早く見つけて悪くなる前に治療しよう	新津 副院長	ストレスを早めに流そうイタキモで	松島 看護師
排尿トラブルはこうして治す	井上 診療部長	寒い冬を元気に楽しく過ごすために運動しましょう	太田 理学療法士

※以上が、北アルプス健康づくりセミナー及び院内学習会（カモシカ学習会）で講演したものです。

講座名	講師	講座名	講師	
感染に関すること	看護師 薬剤師 栄養士 等	受診のしかた	看護師	
医療安全について		初期の手当て		
糖尿病について		救急車の呼び方		
褥瘡予防について		血圧測定・血糖測定・検尿		
化学療法を受ける患者さんのケアについて		乳幼児の計測		
がん、緩和ケアについて	看護師	爪のケア・除圧の方法・床ずれ予防	視能訓練士	
フットケア（巻き爪・鶏眼・べんち処理等）		更年期の体操		
がん患者を抱える家族にできること		リンパマッサージ		
内視鏡に関すること		視検査		
大腸カメラ・胃カメラの流れ		白内障の流れ		
性教育		介護方法		介護福祉士
スロートレーニング（妊婦）		糖尿病検査について		検査技師
更年期・マタニティヨガ・ベビービクス		健診データの見方について		
ベビーマッサージ		寝たきりにならないために		理学療法士
排泄について		薬について（糖尿病等）		薬剤師
災害派遣医療チーム（DMAT）について	ジェネリック薬品について			
PALS（小児二次救命処置）・外傷病院前救護	食事について	管理栄養士		
BLS・ICLS（救命処置）	MRI・CT検査について	放射線技師		

一日看護体験

7月より地域の中学生や高校生が看護体験で訪れています。

白衣を身にまとい、院内をまわり現役看護師の仕事を見学したあと、患者さんの介助、授乳補助など緊張しながらも真剣に看護体験に取り組んでしました。今回、体験した学生さんの多くが将来、看護師になることを楽しみにしております。



七夕コンサート



7月26日から8月8日までの間、病院にお越しになる皆様へのサービスの一環として「七夕まつり」を開催しました。

院内各所に七夕飾りとたくさんの短冊により飾られた笹を置き、5日には折井清純さん(マンドリン)、小林哲聖さん・常盤みのりさん(歌)、矢下初子さん(フラダンス)による七夕祭りコンサートを実施しました。

啓発活動



市内高校前で、「子宮頸がん」の予防について呼びかけを行いました。9月16日(木)は大町北高校前、翌17日(金)は大町高校の前で、登校する女子生徒を中心に子宮頸がんの予備知識についてチラシを配布しました。



新任医師歓迎会

市立大町総合病院に新年度着任した医師7名を歓迎する会が「大町病院を守る会」主催により9月3日（金）黒部観光ホテルで開かれました。

守る会の塩原事務局次長の先導で入場した新任医師が金屏風の前に着席、主催者を代表して小林敏博会長が歓迎の挨拶を述べられました。山田博美院長から挨拶と新任医師の紹介、各医師から自己紹介後に相沢副市長から歓迎の挨拶が述べられ、諏訪光昭県議の乾杯により祝宴となりました。歓談のうち、神社正幸幹事のオカリナ演奏により余興が始まり、参加者が次々と自慢ののどをカラオケに合わせ披露、フィナーレは庄巻、玄人はだしの木畑穰医師（内科）による様々な大道芸の独演会でした。最後は荒沢靖大町市議会議長の「大町病院万歳の発声」で三唱し、歓迎と交流を深めた会はお開きとなりました。



左から、鈴木医師(内科)、飯沼医師(外科)、北村医師(小児科)、木畑医師(内科)、中藤医師(泌尿器科)、林田医師(内科)



▲参加者は総勢54名



▲木畑医師による大道芸

接遇研修会

大町病院では、病院職員・委託業務者など院内での従事者を対象に、接遇改善の取り組みとして外部講師を招いての職員接遇研修会を開催しています。今年は株式会社メディセオの石坂彩子氏をお招きし「接遇の基本を見直しましょう」をテーマに講演を行いました。



不用な古布を譲ってください

当院ではボランティアの方が裁断してくださった古布をお尻拭き等に使用していますが、古布が不足しています。不用な古布がありましたらお譲りください。ご協力お願いいたします。

譲っていただきたい古布 シーツ・タオル・Tシャツなど綿の布

市立大町総合病院

院内感染対策チームの活動

当院の感染対策組織は院内感染対策委員会(ICC)とその下に感染対策チーム(ICT)、看護部感染対策委員会(リンクナース)で成り立っています。ICTのメンバーは、医師、薬剤師、検査技師、感染管理認定看護師、事務部門職員で構成されており、感染対策の実働部隊となっています。当院では毎週一回ICTパトロールを行って、全ての病棟を回っています。



感染管理認定看護師
市岡千津子看護師長



感染対策部長
遠藤優子医師



▲ミーティング風景

各部署を巡回し、感染症の表示は適切になされているか、手指消毒剤や手袋は適切に使用されているか等を確認しています。さらに感染対策上問題となる箇所を指摘し改善を行ない、また現場からの相談を受けたりしています。感染管理は、「医療施設に勤務するあらゆる職種及び患者様や家族など施設利用者を支援する」ことを目標としています。感染管理認定看護師を中心に、病棟だけでなく、外来や検査部門、訪問看護などあらゆる部門の問題解決をしています。



▶◀ ラウンド風景



お願い

報道でもご存知のとおり、多剤耐性アシネトバクター、多剤耐性緑膿菌の院内感染が連日紙面やテレビ画面を騒がせています。アシネトバクターや緑膿菌は生活環境の中に存在いたします。抵抗力の弱い方、手術後の方、治療中の方が感染の危険にさらされないためにも、当院では病室内の生花、鉢植えは置かない事にいたしました。つきましてはお見舞いのお花、鉢植えはご遠慮いただくようご協力お願い致します。

また、小さいお子様は抵抗力が弱いため、小さいお子様の面会は、お子様を感染の危険にさらさせてしまいますし、インフルエンザなどのウイルスを持ち込んでしまう恐れがあります。お子様面会をご遠慮いただく様にご協力お願い致します。

登録医の紹介

登録医とは、患者に対して一貫性のある医療を提供できるように協力体制をとっていただける地域の先生方です。

横澤内科医院

今号のシリーズ「登録医の紹介」では、登録医No.7 横澤厚信先生(大北医師会長)を訪問取材してまいりました。診察が終了し、ホッと一息つかれた貴重なお時間なのに、取材に快く応じて頂き、優しいお人柄を感じる取材となりました。

(聞き手・地域医療福祉連携室 高橋)



●患者さんに「寄り添う医療」
「日々の診療で大切にしていることは？」

患者さんに寄り添う医療を心がけ、患者の望む医療を提供することです。初代は明治の時代からですので、医院は私が3代目です。旅館でいうと創業百年を越える老舗ですね。(笑)

●往診する医者になる

「医師を志したきっかけは？」

よく話すエピソードなんです。が、子供の頃、冬の雪が降る朝、父親が馬そりに乗って八坂村へ診療に出て行きました。朝早く出て、戻ってくるのは夕方頃でしたが、恐らく亡くなる方を看取りに行ったのだと思います。その父親が馬車に乗って往診に行く後姿を見て、自分も往診をする医者になろうと思っていました。

●ホスピスを学ぶ

大学卒業後、聖隷三方原病院で2年半ホスピス(緩和ケ



ア病棟)を勉強し、その後大学へ戻りました。当時、聖隷三方原病院は日本で始めてホスピスを導入した病院でした。そこで勉強し、在宅でも末期癌患者を診ようと思っていました。



●大町で開業を

医学部に入學してから、ずっと大町で開業することしか考えていませんでしたから、最短距離で開業することを考えていました。当時、父が医学部2年の時に倒れたので、大学でのこととかの回り道は一切考えていませんでした。

●親子三代で診療

「長く診療されている患者さんも多いのでは？」

親子3代で診察しています。当時、昭和55、56年頃にオムツをした子供が、今では母親になって自分の子供の受診に付添っている。そういう感じです。

●在宅医療の充実を目指して

在宅医療をしていますので訪問看護ステーションとタイアップして24時間体制で診察しています。医院を継いでから在宅医療の充実を目指してきて、地域の高齢化や介護保険の普及で平成12年当時は在宅の患者さんが150名近くいました。でも、今は20件程度に減少しています。在宅で看るといふより、施設入所を希望される方が増えてきていると感しますね。

「大町病院に一言」

地域は高齢化しています。病院の診療が終了しても、在宅の準備が整わないまま退院したり、再びふり返す可能性ががあります。退院の際は、在宅へ向けた支援と連携を更に充実することを考えて欲しい。また、今後とも患者のスムーズな入院手配やレスパイト等、地域に風通しの良い病院づくりの努力を望みます。

【横澤厚信先生プロフィール】

昭和17年生まれ。昭和43年東北大学医学部を卒業。同年、浜松聖隷三方原病院勤務。昭和55年12月より実家の横澤内科医院を継がれ、地域に根差した医療を提供されております。

所在地 大町市大町4060-8

電話 0261-22-0371

診療科目 内科、小児科

診療時間
・ 8:30~11:15 (月~土)
・ 14:00~17:15 (月~金)

休診日 日曜日、祝日、第1・2土曜日



外来診療表

総合診療 受付時間 8:00~16:30 (月・木曜日の内科は16:00まで)						
診察室(診療時間)	月	火	水	木	金	土
内科(終日)	(中澤 勇一)			(中澤 勇一)		
外科(14:00~)		山本 浩二	飯沼 伸佳		高木 哲	

一般外来 受付時間 8:00~11:30 (土曜日は10:30まで) ※()は信大からの派遣医師です。								
		月	火	水	木	金	土	
内科 ※午後は予約のみ	1 診	午前	山田 博美 (循環器)	赤羽 賢浩 (肝臓)	新津 義文 (腎臓・血液・感染症)	(信 大) (呼吸器)	北原 修 (腎臓・糖尿病)	(漆畑 一寿) (呼吸器)
		午後						
	2 診	午前	木畑 穂 (消化器)	林田 美江 (呼吸器)	百瀬 邦夫 (一般内科)	吉田 憲司 (消化器)	(小林 信光) (呼吸器)	
		午後	百瀬 邦夫 (一般内科)			赤羽 賢浩 (肝臓)		
	3 診	午前	新津 義文 (腎臓・血液・感染症)	北原 修 (腎臓・糖尿病)	山田 博美 (循環器)	(小口泰尚) (循環器)	鈴木 敏郎 (呼吸器)	
		午後						
	4 診	午前	総合診療	吉田 憲司 (消化器)	鈴木 敏郎 (呼吸器)	総合診療	林田 美江 (呼吸器)	
		午後						
	5 診	午前	(小林 隆洋) (循環器)	後藤 紀史 (循環器)	木畑 穂 (消化器)	後藤 紀史 (循環器)	(南澤 綾子) (循環器)	
		午後					木畑 穂 (消化器)	
禁煙外来 [受付]14:00まで				鈴木 敏郎 [診察]13:00~15:00				
漢方外来 [受付]15:30まで					藤巻 達男 [診察]14:00~			
小児科	午前	北村 真友	遠藤 優子	北村 真友	遠藤 優子	(小林 法元)	大嶽 富夫	
	午後 【予約制】	腎臓・血液など 慢性疾患外来	乳児健診、発育 外来、循環器外来	神経外来	(第2・4週) 予防接種			
一般外来	一般外来	高木 哲	山本 浩二	高木 哲	山本 浩二	飯沼 伸佳	(信 大)	
		山本 浩二	飯沼 伸佳	飯沼 伸佳		高木 哲		
	乳腺外来					小池 綏男		
						(信 大) [診察]14:00~		
整形外科	下川 寛一	鎌倉 貞夫	伊藤 仁	鎌倉 貞夫	下川 寛一	鎌倉 貞夫		
	伊藤 仁							
脳神経外科				(伊東 清志)				
皮膚科	松本 祥代	松本 祥代	松本 祥代	(中藤 奈美)	松本 祥代	松本 祥代		
			子供/専門外来 [診察]14:30~ (受付は15:00まで)					
泌尿器科	井上 善博	柳沢 温	中藤 亮	井上 善博	中藤 亮	井上(第2週) 中藤(第4週)		
産婦人科	深松 義人	原 きく江	(大平 哲史)	深松 義人	原 きく江	(信 大)		
眼科【完全予約制】	(山本 裕香)		(千葉 大)		(黒川 徹)	(山本 裕香)		
耳鼻咽喉科 [水曜受付]15:30まで			(信 大) [診察]14:00~			(信 大)		
形成外科 [受付]16:00まで		(第1・3・5火曜) (伴 碧) [診察]14:00~						

※眼科外来は紹介状をお持ちの方のみ事前予約が可能となっています。詳しくは眼科外来までお電話ください。

※ドック・特定健診等は健診センターまでお問い合わせください。

※診察券(プラスチックカード)は全科共通です。保険証と共に忘れずにお持ちください。

※再来受付機は、保険証を3ヶ月以上提示いただかないと利用できなくなります。(1番総合窓口にお越しください)